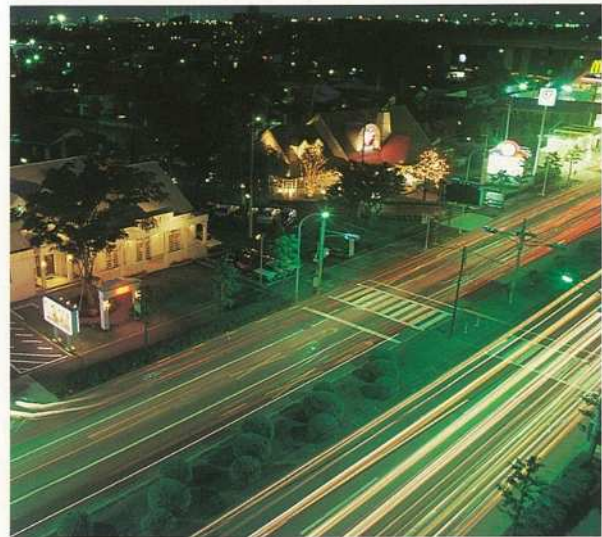


# せたがや百景



世田谷区



# 目次

都市の風に吹かれて  
まちのポートレート 下北沢  
歴史の襷を織りこんだまち  
緑のベルト、国分寺崖線をたどって  
座談会 世田谷の風景を語る

そこに暮らす人々の表情のように都市は変わりゆく  
まちのエネルギーは人と交通のネットワークが生み出す  
井伊直弼と吉田松陰 常盤伝説とさき草の里  
大地が都市の相貌を支えている

## 世田谷の公園

プレイパークを拠点に、  
ぎんなんやどんぐりを拾ったり、落ち葉で遊んだり。  
子ども達には素晴らしい体験ですよ。

● 竹内美津江さん

「つくってほしい」ではなく、  
「こういうことをしたいからこんな機能を」  
というような声を求めているんです。

● 本田三郎さん

公園の再生や二階建公園など、  
みんなでアイデアを出し、工夫していく過程で  
コミュニティも育つでしょう。

● 高野文彰さん

## 北沢川緑道桜並木と代沢の桜祭り

緑道と川筋のコミュニティ

一文にもならないがきれいだね。  
金がなくとも花が咲くとハーツと心が明るくなつてさ。

● 吉田才二郎さん 加納武尾さん 柳下信次さん 篠塚昭宏さん 阿川棋太郎さん

## 谷沢川桜と柳の堤

緑道と川筋のコミュニティ

枝が川へしだれて、水面すれすれに桜が咲くから、  
橋からの眺めはほんとうに素晴らしいよ。

● 鈴木重雄さん

## 烏山 西沢つじ園

見ごろは天皇誕生日のあたりだね。  
ツツジの花のカーペットが足元に広がるんだ。

● 西沢信太郎さん

## 烏山寺町

緑の景観を支えているのは地下水なんです。  
世の中、変わっていくものといかないものがある。  
お寺なんか、変わってほしくないものだと思います。

● 松永幹雄さん

## 成城のまち

ここは開放された自由な土地という感じがあつて、  
囲いなんかにこだわらなかつたんだろうね。  
成城の西の崖のあたりの眺めはいいですね。

● 柳田為正さん、富美子さん

## 代沢のまち、阿川家の門

享保六年と記されてありましたから、  
二百五十年は越えています。  
田圃の穂波の先、東南の方向には富士山も見えました。

● 阿川昌朝さん

## 下北沢のまち

演劇もジャズもロックもありましたから、  
ただのファッションのまちにならなかつたんだと思います。  
● 矢吹彦彦さん

● 長内陽介さん

## 植えられた木の風景

松原のミニいちじょう並木

主人の誕生祝いに植えた苗木がルートです。  
焼夷弾の延焼も防ぎました。

● 佐々木道子さん

## 北沢川緑道ユリの木公園

緑道と川筋のコミュニティ

玉電沿いのひとつの景勝地になった。  
といつてもいいのではないのでしょうか。

● 新井行雄さん

## 大山道今昔

三軒茶屋、太子堂あたり

茶屋が三軒あつたから三軒茶屋の名がついた。  
大山道は江戸市民の行楽のコースだったんですよ。

● 三田義春さん

昔からあつた道はやさしいなあ、  
人が歩いてつづけてきた道だからね。

● 荻原礼子さん

## 世田谷風景変遷史

世田谷の大きな緑のスペースや公共施設は、  
戦前のゴルフ場やら軍隊の施設なんかか  
もつたものが多いんですよ。

● 三田義春さん

## 武蔵野としての世田谷、文学の中の世田谷

芦花公園と粕谷八幡一帯

いまはうつろつとした森になっていますが、  
これは蘆花が植えた木が成長していったものなんですよ。

● 横山春一さん

## 駅前顔

はなみずき並木の二子玉川界わい

ハナミズキがまちに四季の移ろいを告げるんです。  
春には「花みず木フェスティバル」も催されます。

● 三谷益巳さん

## 世田谷の農村の風景

大蔵の移り変り 宇奈根氷川神社

水車小屋が五つあつた。野川の際まで水田だったんだ。  
野菜もよく眠らないとだめ。  
夜はまくらなところであらうすり眠る。  
人間だつて同じだよ。

● 長島修三さん、常三さん

新しいみこしはお母さんがかつぐ女みこしよ。  
緑のなかにだんだんはなやかな色彩が加わってきました。

● 小泉珠子さん

## 世田谷まつり今昔

農大収穫祭 しもきた天狗まつり

私が提案した「ダイコン踊り」は、  
今じゃなんてことないのですが、  
当時は斬新なアイデアとして面白がられましたね。

● 加藤日出男さん

古いものを新しくアレンジしてゆくと、  
それが祭りを成功させるコツですよ。

● 大塚弘章さん

## 子どもたちの原風景

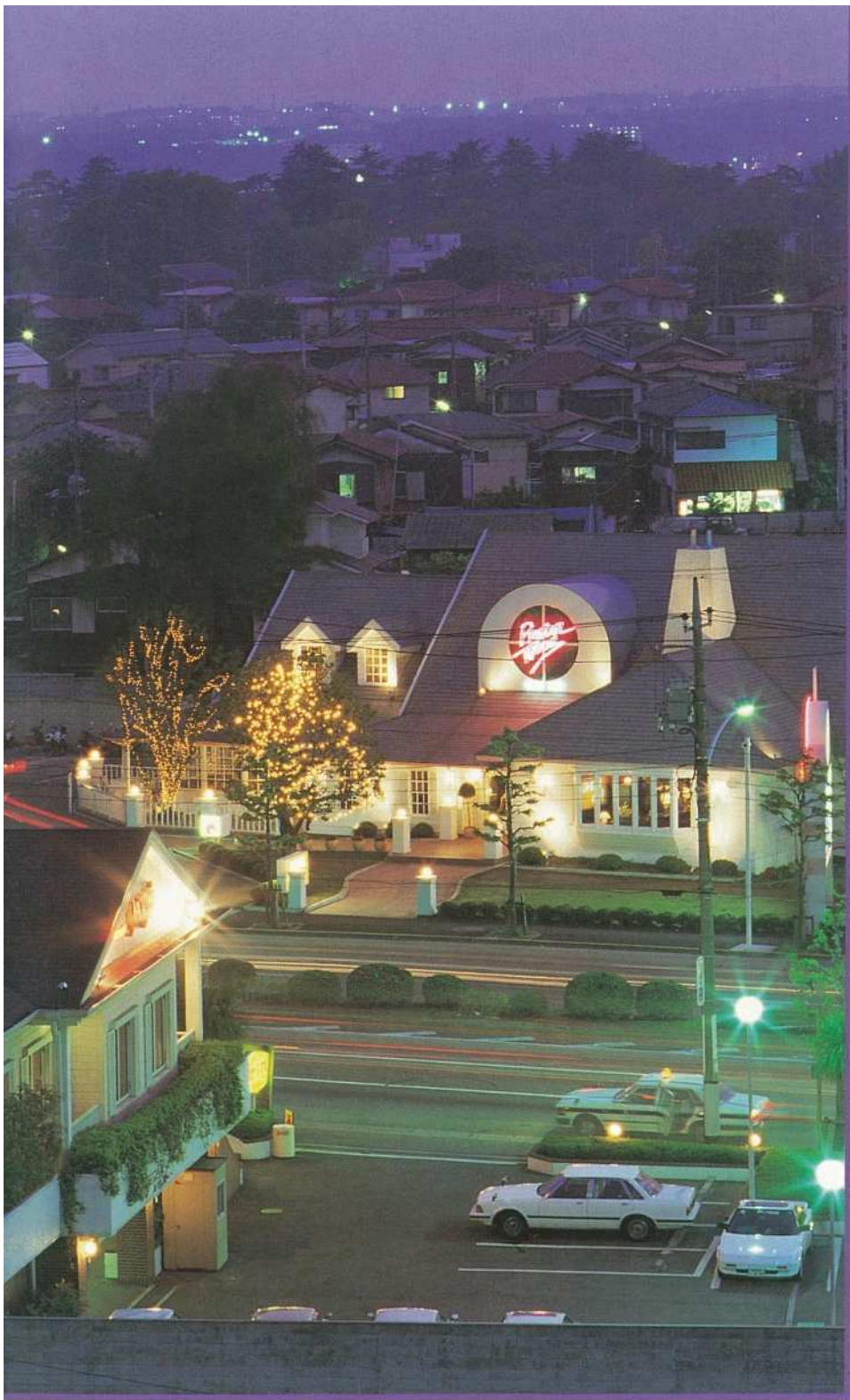
だれもがひとつ、  
育つた場所の風景のなかに  
宝ものをもっている。

## 百景INDEX

# 都市の風

## に吹かれて

そこに暮らす  
人々の表情のよさに  
都市は変わりゆく



都市で  
の生活  
目まぐる  
しいほど  
のスピード  
だ。まち  
のたたき  
も、この  
テンポと  
ともに移  
り変わった  
ほ。世  
田谷の景  
な変化へ  
の胎

ずいまいやま景  
の目まぐる  
しいほど  
のスピード  
だ。まち  
のたたき  
も、この  
テンポと  
ともに移  
り変わった  
ほ。世  
田谷の景  
な変化へ  
の胎

す八十万の  
人の豊かな  
力はまた大  
きなゆとり  
と生まれて  
いる。み出  
る生  
まかされる  
なかに  
生かされる  
緑の  
広さ  
と市  
空間に  
配され  
た公園  
や緑道  
の姿が見え  
てく

世田谷に暮ら  
す八十万の人  
の豊かな力は  
また大きな  
ゆとりと生ま  
れてくる。み  
出た生  
まかされるな  
かに生かされ  
る緑の広さ  
と市空間に  
配られた公園  
や緑道の姿  
が見えてくる



新しいスタイル  
のエクステ  
リアに暮らす  
人々の表情  
も、この  
テンポと  
ともに移  
り変わった  
ほ。世  
田谷の景  
な変化へ  
の胎

す八十万の  
人の豊かな  
力はまた大  
きなゆとり  
と生まれて  
いる。み出  
る生  
まかされる  
なかに  
生かされる  
緑の  
広さ  
と市  
空間に  
配され  
た公園  
や緑道  
の姿が見え  
てく

走る車のなかから一瞬、アメリカの風景が見える。家族連れや湘南に向うサーファーたちがよく立ち寄るレストランが並ぶ。東名高速入口近くのアメリカ村は、若い世代が作り出した世田谷の新しい名所だ。夜景に一際くっきりと目立っている。⑧



砧ファミリーパーク。  
 広々とした芝生のうえに明るい日差しがある。  
 訪れる人々は思い思いにのびのびと体をのばす。  
 胸一杯に吸う空気も新鮮だ。  
 休日には笑い声や歓声が絶えることがない。  
 区外からも多くの人々が憩いの一時を過ごしにやってくる<sup>66</sup>

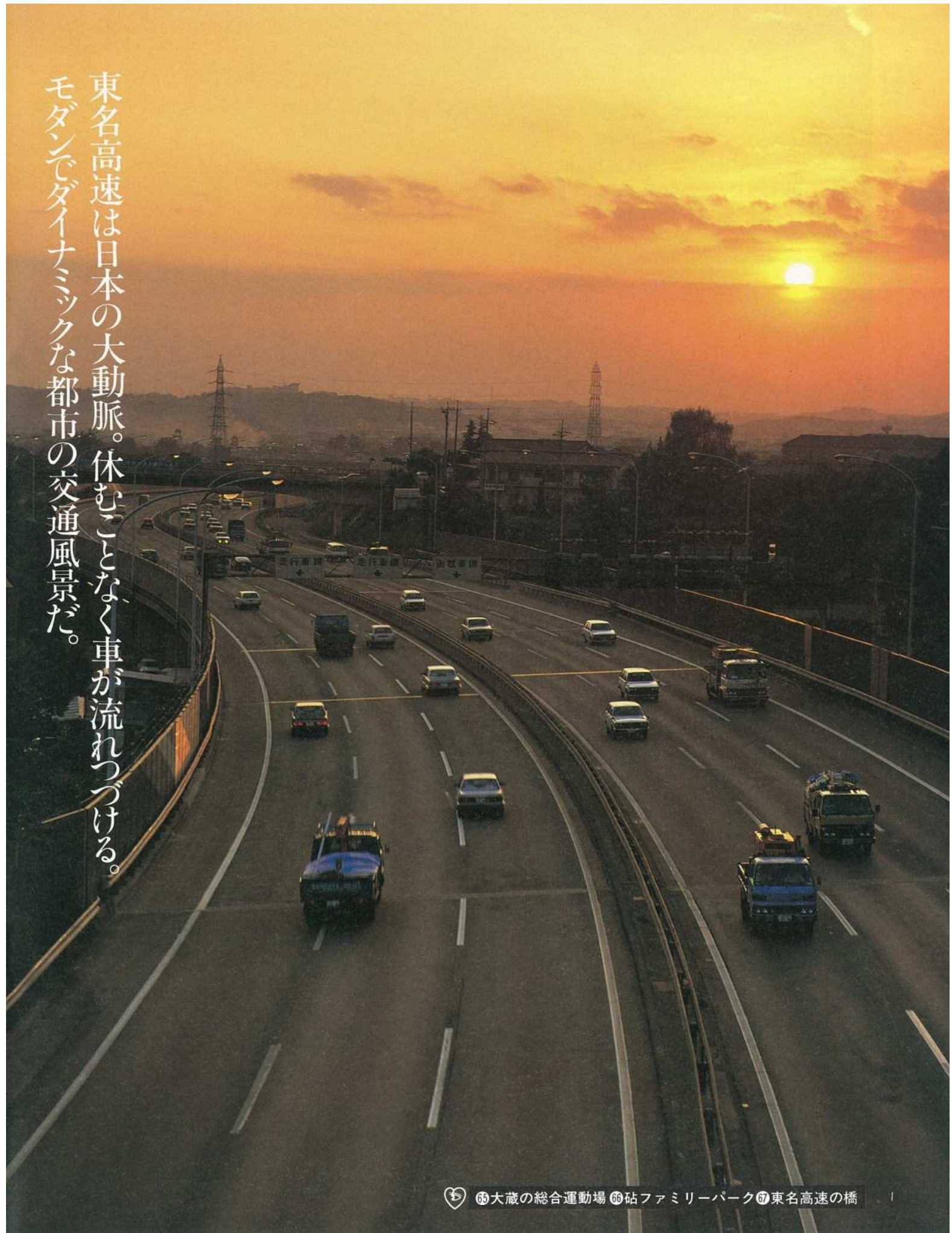
大空を飲み込むような緑の空間がある<sup>66</sup>



区民にスポーツの場を提供する、大蔵の総合運動場<sup>65</sup>



黒い土のうえに  
 落葉がやさしくふり積もる<sup>66</sup>



東名高速は日本の大動脈。休むことなく車が流れつづける。  
 モダンでダイナミックな都市の交通風景だ。



ナウい感覚の店が競う⑫



発見のあるまち⑬



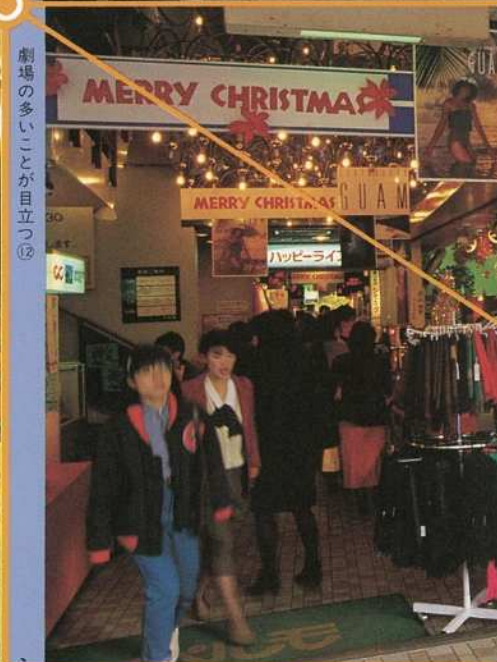
# まちのポートレート

## 下北沢

### まちのエネルギーは 人と交通のネットワークが生み出す



店先が食卓へ直結⑭



劇場の多いことが目立つ⑮



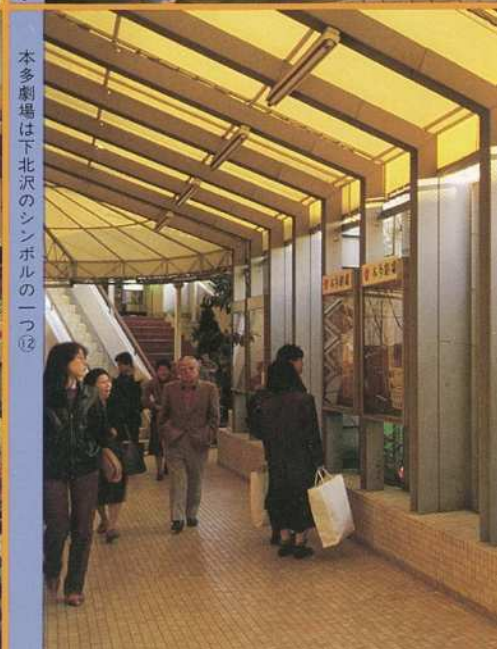
環7・環8・国道246・首都高速・東名高速などの幹線道路網や、小田急・京王帝都・東京急行など八系統四十駅の私鉄網が世田谷のまちをおおっている。モータリゼーションの発達した今日、交通のネットワークはまちの風景に影響を与えないわけにはいかない。

小田急線と井の頭線のクロスする下北沢へ行ってみよう。住んでいる人々と訪れる人々の呼吸が見事に合い、このまちの独特の魅力をかたちづけている。なんでもない自分たちの平凡なまちが、若い新鮮なエネルギーを受け入れることで活気づく。演劇の旗手たちがこのまちからスタートする。手づくりの、だがタウン感覚いっぱいのお店ができる。一方では、戦後の闇市の面影をとどめる暮らしのおいに満ちたマーケットも健在だ。

いろいろなものを受け入れてくれるまち。なにか新しいことができそうだと思うまち。若者が集まってくるのがうなずける。



安くて新鮮だ⑯



本多劇場は下北沢のシンボルの一つ⑰



狭い道路に人が行き交う。自動車万能を逆手にとってまちの個性を引き出している。二つの私鉄は新宿・渋谷の二大盛り場につながっているが、そこにはない人肌に合ったまちの魅力で人を引きつける。このまちは、交通のネットワークに自らを無視せずに位置づけ、人間自身のネットワークをつぎつぎに編み出しているようだ。